

Landslide Management by Community Based Approach in the Republic of Armenia

コンサルタント海外事業本部 都市社会事業部 都市環境部 森 幹尋 他

○キーワード

landslide, community based management

○概要

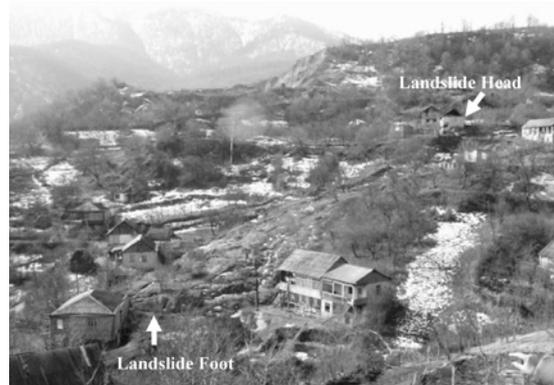
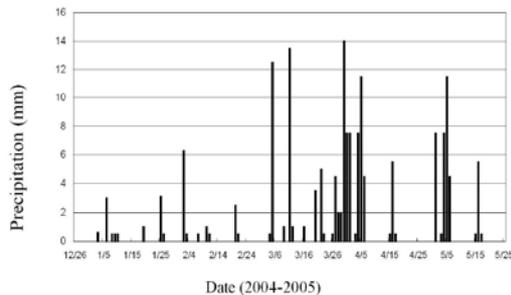
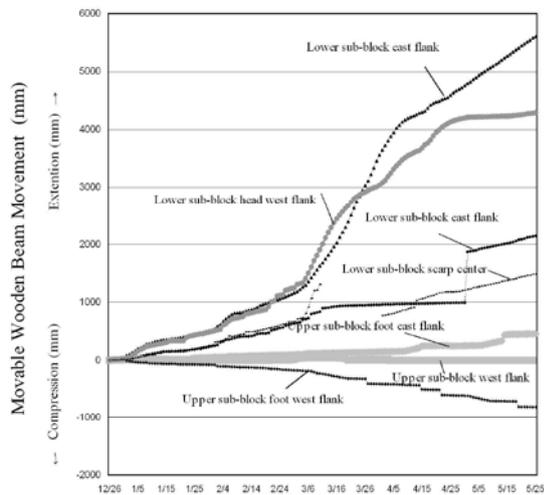
アルメニア国は山岳国であり、居住地の40%が地すべり地形上に分布する。国土の年降水量は一般的に小さいため地すべり地の多くは沈静化している。しかし居住地においては、散水や漏水が、地すべり活性に大きな影響を与えている。2004年度の調査では全市町村の12%から地すべり被害が報告されている。パイロットプロジェクトでは、住民参加により、コミュニティ道路の排水対策が計画・実施され、地すべりの鎮静化と、降雨・融雪時に泥濘化していた村道の改善に対し顕著な効果が得られた。

○技術ポイント

比較的降雨量の小さい地域では、地すべり地形の多くは沈静化している。こうした地域での居住地は緩斜面からなる地すべり地形に形成される場合が多い。こうした居住地域への給水からの散水および漏水は、地すべりの活性化に大きな影響を与えている。

地すべり対策に資する原資が乏しい場合は、受益者であるコミュニティが自ら対策を実施することが必要となる。この場合、居住地への地すべり減災だけでなく、泥濘化している道路の車両の走行性改善等にも資する多目的事業とすることにより、事業の妥当性が向上し、住民の自主的な参加が得られ易くなる。

○図・表・写真等



雪解け時に活性化するゴッシュユ村の地すべりと泥濘化しているコミュニティ道路